

令和5年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号		授業科目名	救急災害マネジメント特論 A		担当教員	千明 政好		
		英語授業科目名	Management of Work-related accident A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次		クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	なし							
テーマ・副題								
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	医療現場や労働現場における労働災害の概要を理解する。 医療現場や労働現場での労働災害の防止方法，問題解決法を学ぶ。							
授 業 の 理解度の 到達目標	1. 医療現場や労働現場における労働災害の発生原因と対策を理解できる。 2. 危険予知トレーニングの理念と目的，効果について理解できる。 3. 危険予知トレーニングを用いた，災害防止策を理解できる。 4. 職場等における問題解決技法について理解できる。							
授業キーワード	労働災害，危険予知，危険予知トレーニング，問題解決							
授業の内容	医療現場や労働現場における労働災害の概要を知ると共に，労働災害の防止方法，問題解決法等具体的手法を学ぶ。							
授業の方法	講義で基本的知識を習得。随時、関連事例をテーマに取り上げ実技体験しつつ手法を修得する。							
授業展開	1. 労働災害の特徴 2. 労働災害の発生原因と対策① 3. 労働災害の発生原因と対策② 4. 危険予知トレーニングの理念と目的① 5. 危険予知トレーニングの理念と目的② 6. 危険予知トレーニング基礎 4 ラウンド法① 手法の目的と特徴，手順， 7. 危険予知トレーニング基礎 4 ラウンド法② 手法の実際① 8. 危険予知トレーニング基礎 4 ラウンド法③ 手法の実際① 9. 危険予知トレーニング基礎 4 ラウンド法④ 手法のまとめ 10. 問題解決 4 ラウンド法① 手法の目的と特徴，手順 11. 問題解決 4 ラウンド法①危険予知トレーニング健康 KY 手法の目的と特徴，手順 12. 危険予知トレーニング応用手法① 健康 KY 実際 13. 危険予知トレーニング応用手法② 指示出し・指示受け KY 手法の目的と特徴，手順 14. レポート発表 15. レポート発表							
成 績 評価方法	レポート 80%、受講態度 20%							
成 績 評価基準	A100～80 点、B 79～70 点、C 69～60 点、D 59～0 点、E 定期試験未受験 D、E は不合格							
テキスト	中央労働災害防止協会編：ゼロ災運動推進者ハンドブック改訂第 3 版 2016. (4,320 円)、 ISBN No.978-4-8059-1679-7 を購入し持参すること。 他の必要資料は適宜配布する。							
参考図書	必要に応じて随時指示する。							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	実施した授業内容について、次回授業までに復習を 1 時間程度行うこと。 シラバスの予定を参考に次回授業内容の事前学習を 1 時間程度行うこと。							
学生へのメッセージ								
オフィスアワー	木曜日 6 限							
連 絡 先	電話番号	0274-20-2115 (内線 2670)		メールアドレス:	mtigira@jobu.ac.jp			
人数制限	なし							